

エボラ出血熱と新興感染症に備える

(オーソモレキュラー栄養療法による)

予防と対策

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の発生源を巡る論争の記憶が新しい中、今回の移転によって、意図的か偶発的にエボラウイルスが拡散し、東京という世界有数の人口都市で「人工的なパンデミック」が発生するのではないかという懸念が広がっています。この問題は日本国内にとどまらず、全世界にとって重大な教訓とリスクを含んでいます。なぜこの問題は全世界にとって重要なのでしょうか？

国民全体の免疫力を高める

対策

東京または他地域で最初のエボラ症例が確認された場合

【目的】免疫の迅速な活性化と地域社会への情報発信

- 信頼できる医師や独立した健康ネットワークを通じた緊急情報の普及
- 私たちの手に入りやすい、ビタミンC、ビタミンD、亜鉛、セレン、ビタミンB群、マグネシウムなどのサプリメントを速やかに摂取しましょう。
- 自宅で使用可能な予防的チェックリストやプロトコルの配布
- 過酸化水素 (H₂O₂) 吸入療法の導入 (トーマス・レビー医師、2021年提案)

私たちの使命は
正しい知識を国民に伝えることです



オーソモレキュラー
医学会による

エボラの記事

続きはこちら

children are our Future

私たちの子どもは 私たちの未来です

私たち全員がお医者さんで立ち上げた
国際ボランティア団体です。



Guardians for Health & Freedom

『自由と健康を護る会』



「予防」は「治療」より優れているだけでなく、
ハイオ危機においては、現実的に唯一の防御手段です

発生前に準備する

普段の食事やサプリメント
で日常的に備える

ビタミンD

5,000~10,000 IU/日 (血中25(OH)D濃度を50~100 ng/mLに保つ。日本人の90%以上は30 ng/mL未満である)

ビタミンC

3,000~10,000 mg/日 (リポゾーム型が吸収効率に優れる)

亜鉛

25~50 mg/日 (銅 1~2 mgを併用)

セレン

200~400 µg/日 (日本人の食事からの平均摂取は約100 µg)

マグネシウム

400~1,000 mg/日 (グリシン酸塩またはクエン酸塩)

ビタミンB群

- B₁ (チアミン) : 100~300 mg/日
- B₃ (ナイアシン) : 500~2,000 mg/日
- B₆ (ピリドキシン) : 50~100 mg/日
- B₁₂ (コバラミン) : 1,000~5,000 µg/日



ライフスタイル

- ・ 太陽光を毎日浴びる
- ・ 超加工食品の排除
- ・ 野外の活動を増やす
- ・ 十分な睡眠
- ・ 間欠的ファスティング

次のパンデミック
Disease X
に備えましょう

自然発生にせよ、人為的であるにせよ
いつ起きても不思議ではありません。
その解決策として今、私たちに必要な
方法は「栄養療法」が唯一の鍵
となるでしょう！

ボランティアさん大募集

ご支援ご協力よろしくお願いします



<http://GHF-japan.Org>



@GHF_JP